

## 学 生 海 外 研 修 報 告 書

鹿児島大学長 殿

授業担当者

所属/職名: グローバルセンター・教授

氏 名: 中谷 純江

授業科目名	海外研修基礎コース in カリフォルニア
研修先(国・地域) 滞在地	米国・サンフランシスコ、ソノマ
研修期間	2018/2/17 ~ 2018/3/4
<p>〔研修の成果〕</p> <p>本研修の目的は、グローバル化が進む中で生じている問題への地域社会の取り組みについて学ぶことにある。グローバル課題が最も先鋭的な形で現れている米国で貧困問題、社会格差、多文化主義の3つをテーマとする研修をおこなった。中国系移民の町チャイナタウン、メキシコ系移民の多いミッション、LGBTの拠点カストロを訪問した他、低所得者やホームレスが多い地区にある教会でのボランティアに参加した。カリフォルニアの移民が築いてきた多様な文化にふれたり、サンフランシスコ市のホームレスの現状と民間団体の取り組み、市民一人ひとりの考え方や問題への関わり方について学ぶことができた。日系移民の高齢者への支援団体も訪問し、老人ケアや介護の分野でも文化的差異が重要な問題となっており、様々なコミュニティに対応した支援が必要ながわかった。お年寄りとの交流によって、アメリカに移住することとなった経緯や背景などについても話をきくことができた。サンノゼ日本町では日系移民の歴史や町の現状について学ぶことができた。日系アメリカ人が経験した差別や収容所送りは、現在のメキシコ移民やイスラーム教徒移民に対する排除や迫害を許すべきでないという声明の基盤となっていることが分かった。</p> <p>次の1週間は、ソノマ州立大学でグローバル課題への地域への取り組みをテーマとする講義をうけ、地域の活動についてフィールド調査を実施した。セバストポールという小さな町の交流団体によって、ホームスティ先や訪問先のアレンジを支援していただき、学生一人ひとりが充実した研修をおこなうことができた。英語力の強化、地域課題の理解、リーダーシップの重要性など、グローバルに活躍する際に自分に足りないものを明確に認識し、今後、鹿児島で実際に取り組んでいくための目標を具体化することができた。研修の大きな成果として、カリフォルニア北部で秋に起こった大規模森林火災の被災者のために、昨年度に研修に参加した学生が募金活動を行って集めた基金を現地に届けるとともに、今年度の学生も現地で募金活動や鹿児島を紹介する活動を行ない、2つの地域をつなぐことができたことが挙げられる。</p>	
<p>〔今後の課題〕</p> <p>セバストポール市との交流やソノマ州立代学との連携をさらにすすめ、本学学生をうけいれてもらうだけでなく、双方向の交流へ発展させるよう尽力する。</p>	